

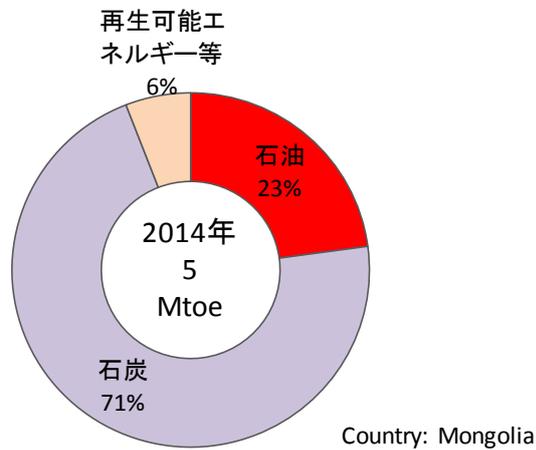
## 1-4 モンゴル

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

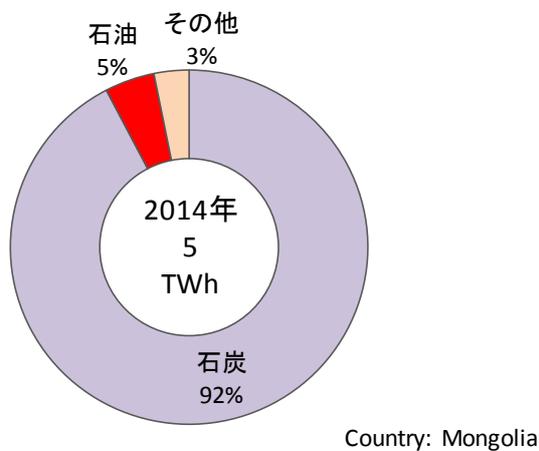
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 5 百万 toe (日本の 0.01 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 1.85toe (日本の 0.53 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 268%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 18.2 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 1.5%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 6.24CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 66.7%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 - 、天然ガス - 、石炭 103 年

一次エネルギー供給構成 (2014 年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014 年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省 (Ministry of Energy) がエネルギー政策を担い、大臣は P. GANKH 策を氏 (2016 年 8 月時点)。石炭を含む鉱物資源の開発は鉱業省 (Ministry of Mining) が担う。環境行政は Ministry of Environment and Green Development が担当する。
- エネルギー関連国営企業として、国営石炭企業 Erdenes Taban Tolgoi、国営石油開発企業 HB Oil JSC 等がある。

### (2) 基本政策

- 2006 年の鉱物資源法改正により金及び銅鉱石に関する超過利潤税(68%)が導入されるとともに戦略重要鉱床に対してはモンゴル政府が 10%以上を出資することとなり、外資による鉱山開発の魅力は低下した。更に 2012 年 5 月から鉱物資源への外国企業の出資を 49%以下に抑える「外資投資法」を施行しており、資源保護政策を強化している。
- モンゴルのエネルギー政策は 2002 年策定の“The Comprehensive Policy on National Development” (総合国家開発計画) に基づいている。2007 年から 2012 年にかけてモンゴル政府は“Program of Integrated Energy in Mongolia”により、エネルギー供給体制の集中化を達成した。2012 年から“The National Program on Renewable Energy”により、再生可能エネルギー利用拡大を図っている。

### (3) 最近の動向

- 2016 年 1 月、鉱業省は定例記者会見にて石油探査及び開発のため 3,500 万米\$を拠出すると発表した。
- 2016 年 8 月、第 7 回総選挙で政権交代を果たしたモンゴル人民党の新内閣が発足した。モンゴル人民党は 6 月の選挙で 76 議席のうち 65 議席を獲得し、新首相に Erdenebat 氏を選出した。省庁は前政権の 15 省から 13 省へとスリム化した。13 省の公務員数は 109 人削減され 1,381 人となった。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

- 日本はモンゴルを、ウラン及び原料炭の新たな安定調達先として注目している。
- 2015 年に日本はモンゴルから石炭を 3ton 輸入した。
- 2015 年 2 月、日・モンゴル経済連携協定 (EPA) が署名された。
- 2016 年 7 月、安倍首相はモンゴルで Elbegdorj 大統領、Erdenebat 首相、Enkhbold 国家大会議議長と会談を行った。Erdenebat 首相との会談では、同首相からこれまでの CCT、環境、人材育成等における日本の協力に対する感謝と今後の継続に対する期待が示された。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Mongolia

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		5 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		1.85 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.47 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		268 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		18.2 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		6.24 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	71 %
	石油	23 %
	天然ガス	23 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	6 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-168 %
(9) 石油の輸入依存度		17 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	(原油の輸入なし)
	第2位	
	第3位	

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA